

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



子どもも大人も笑顔で新一年生

特集

平成 30 年度予算

住みよいまちをめざして! . . . 2 ~ 5

施政方針を問う! 古賀市の未来を考える . . . 6 ~ 7

第 1 回定例会 主な審議・補正予算 . . . 8 ~ 9

ここが聞きたい! 一般質問 . . . 10 ~ 16

常任委員会の報告 . . . 17 ~ 19

賛否一覧・視察受け入れ . . . 別刷り

第 83 号

平成 30 年 (2018 年)

5 月 8 日

発行責任 福岡県古賀市議会

平成30年度
一般会計予算
可決

205億2,211万円 (前年度比4.3%増)

平成30年度予算案は、市税収入68億2,030万円(前年度比0.8%増)、地方交付税28億7,600万円(前年度比3.4%減)、地方消費税交付金10億2,900万円(前年度比0.3%増)、国庫支出金35億8,232万円(前年度比0.4%増)、市債10億690万円(前年度比19.3%減)、ふるさと応援寄附金10億円(前年度比233.3%の大幅増の見込み)です。

主な新規事業

公共施設間シャトルバス実験運行委託

480万円

JR古賀駅から市役所、サンコスモ古賀、ひだまり館、コスモス館の間に大型タクシーを有料で運行。【7月頃開始の予定】
土、日、祝日の運行や市民の希望するところへのバス増設の意見ができました。

病児保育事業補助

673万円

病児保育

施設整備補助
2000万円

保育サービス
の充実と保護者の
就労支援のために
2カ所目を新設。



小・中学校教室への

空調設備整備工事設計委託

1927万円

小・中学校教室へエアコンを設置するための設計委託で、平成30年度は、青柳・小野・古賀東・古賀西小学校から進める予定。4年間での設置ではなく、早急な全小・中学校への一括設置などの要望も出しました。

道の駅基本計画策定委託

1089万円

道の駅建設への場所や規模などを検討、農業者や食品工業団地、地元企業の協力が重要との意見が出ました。

ドローン操作講習負担金

84万円

ドローンによる災害時などの調査のための講習補助。

子どもの貧困対策推進計画策定委託

116万円

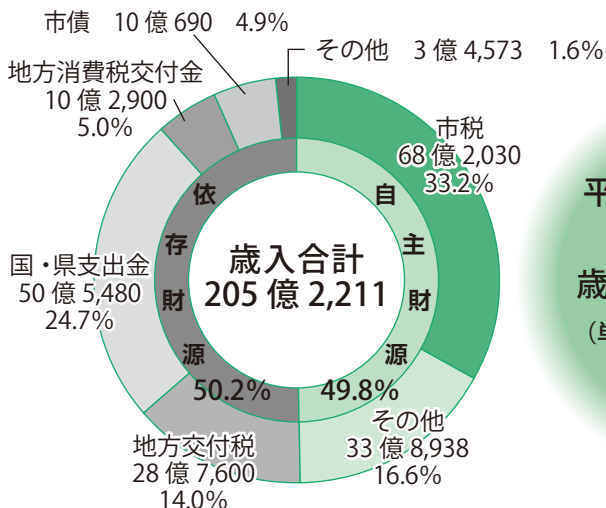
子どもの未来を守るための健やかな育成の環境整備と教育の機会均等を図る。

スポーツ振興基本計画策定委託

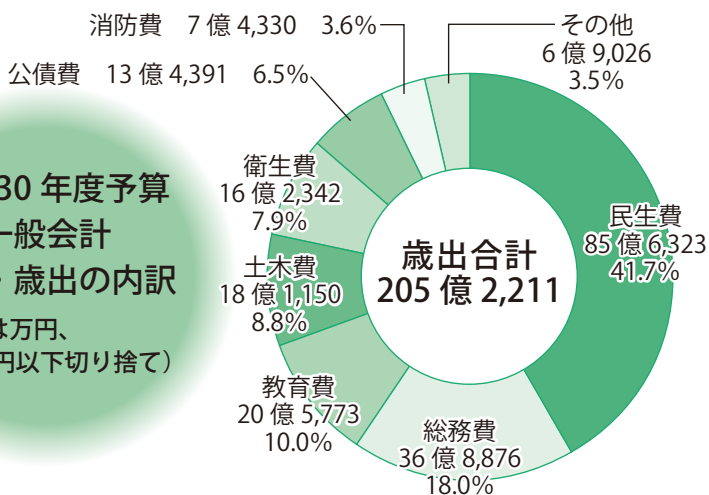
300万円

船原古墳誘導サイン設置工事

618万円



平成30年度予算
一般会計
歳入・歳出の内訳
(単位は万円、
千円以下切り捨て)



住みよいまちをめざして!

前年度からの継続事業

路線バス運行補助 4038万円

公共施設間タクシー運行委託 85万円

地域移動サポート補助 100万円

市民の交通環境を整備し、住みよい生活環境整備のために、西鉄バスやタクシーの活用を進めます。

ふるさと愛護事業費

7億4401万円

ふるさと納税ポータルサイト運営委託

5184万円

ふるさと納税ポータルサイト使用料

8751万円

ふるさと応援寄附金10億円の大幅増額。ふるさと応援寄附を期待し、その対応のための整備の推進。

子ども・子育て支援事業計画策定委託

295万円

災害対策事業費

590万円

災害に備えて、備蓄品の補充、充実に推進。

地域防災力強化事業費

24万円

防災士育成のため、資格取得を応援。

小学校少人数指導推進事業費

3120万円

中学校少人数指導推進事業費

1440万円

ふるさと応援寄附基金を財源に、小・中学校での35人以下学級の推進を行います。



当 初 予 算	会 計 名	30年度当初予算 (万円)	29年度当初予算 (万円)	対前年度比較	
				増減額(万円)	増減率(%)
	一般会計	205億2,211	196億7,359	8億4,851	4.3
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,006	838	1,168	139.3
	国民健康保険特別会計	58億8,761	71億7,251	△12億8,489	△17.9
	後期高齢者医療特別会計	7億4,638	7億1,624	3,014	4.2
	介護保険特別会計(保険事業勘定)	35億5,132	34億1,575	1億3,557	4.0
	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	2,952	3,091	△139	△4.5
	公共下水道事業特別会計	20億3,633	20億3,761	△128	△0.1
	農業集落排水事業特別会計	4億4,922	5億3,818	△8,896	△16.5
	水道事業会計	15億2,053	14億9,557	2,496	1.7
	総 計	347億6,312	350億8,879	△3億2,566	△0.9

(千円以下切捨のため、総計が合わないことがあります)

予算審査特別委員会

委員長 森本 義征

重要な計画策定提案を受け

「まちづくり」の進捗を見守る

予算審査特別委員会に付託された平成30年度古賀市一般会計予算、特別会計予算および水道事業会計予算までの8議案について審査の経過と結果の報告をします。平成30年度の総額予算規模347億6300万円（対前年比△3.2億円、0.9%減）。当初予算は、事務事業の成果や課題の情報共有に努め、優先順位の洗い出しによる予算配分を行ったとのことでした。

特徴的なものは、「公共施設間シャトルバス運行開始480万円」「道の駅開設基本計画策定1089万円」「都市計画マスタープラン改訂992万円」「景観条例制定681万円」「小・中学校への空調設備設置委託1927万円」「子ども・子育て支援事業計画策定委託295万円」などです。

質疑が集中したのは、道の駅基本計画策定委託、都市計画マスタープラン改訂委託、スポーツ振興基本計画策定委託、各計画の内容と詳細。行政区活動事務費について。ふるさと納税の収支見込みおよび返礼品の内訳。シルバー人材センターとの連携。水道料金を口径別および従量別に変更する理由など。シャトルバス実験運行については時間をかけて審議を行いました。バス停、運行日、交通空白地帯、市内企業などの送迎バスの利活用の

問題など、活発な意見を交わしました。質疑では、政策運営に対して大変厳しい意見が多数出ました。市長および執行部に対して、委員会での意見、提言などを市政に反映することを、強く要望しています。

採決の結果、平成30年度古賀市一般会計予算および後期高齢者医療特別会計予算、公共下水道事業特別会計予算、農業集落排水事業特別会計予算は賛成多数で原案可決。住宅新築資金等貸付事業特別会計予算および、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算、水道事業会計予算は賛成全員で原案可決しました。



公共下水道事業
特別会計予算

反対

内場 恭子

平成29年度の7.7%下水道料金引き上げを反映したもので、市民にとっては大きな負担だ。社会的弱者への配慮不足や大口・小口の利用者への影響などの大きな問題がある。

反対

奴間 健司

公共下水道料金の値上げは公営企業会計導入の2019年4月に合わせるべき。家庭用下水道料金値下げが否決されたため市民には大きな負担増となる。料金値上げ前提の予算には反対。

後期高齢者医療
特別会計予算

反対

内場 恭子

福岡県後期高齢者広域連合は保険料を均等割56,085円に据え置き、所得割額を引き下げる。しかし、低所得世帯にかかる軽減特例を廃止するため、保険料は引き上げられ負担増だ。

一般会計予算

賛成 阿部 友子
 苦渋の選択で学校へエアコンを設置すること、「健康チャレンジ10か条」による健康づくり推進、病児保育2カ所目の開設、薬王寺ビオトープ整備、景観計画・条例策定を評価し賛成。

賛成 伊東 洋子
 小・中学校へのエアコン設置工事設計委託、病児保育施設増設で受け入れ数7人に、古賀駅から公共施設を結ぶシャトルバスなどを評価。予算を最大限に活かしてもっと住みたい古賀市に。

賛成 奴間 健司
 小・中学校へのエアコン設置着手を評価。重点配分の明確化、市民評価アンケート、ふるさと応援寄附活用基準、市長公約の進行管理、補助金審査のあり方、財政計画の公表などを指摘。

賛成 吉住 長敏
 天の時ともいふべき玄望園事業支援、都市計画マスタープラン。地の利を生かした道の駅構想、JR古賀駅東口周辺の土地利用、人の和の市独自の少人数学級を持続する予算化を評価。

反対 内場 恭子
 公共施設間シャトルバス実験運行は土日の運行がない。市民のコミュニティバス運行の願いに答えていない。第3子の学校給食費補助の廃止や古布回収廃止などは認められない。



水道事業会計

賛成 内場 恭子
 水道料金を下げようと努力したことを評価する。福岡水道企業団受水の見直し、北九州水道用水活用で水道料金を安くすることも研究すべきだ。料金のさらなる引き下げを期待する。

介護保険
特別会計予算

賛成 内場 恭子
 基準月額を4,800円と月額100円、年額1,200円の引き下げを評価する。介護予防や健康増進の対策、コミュニティ活動の推進などを強め、安心の介護制度にすることを期待する。

国民健康保険
特別会計予算

賛成 内場 恭子
 国民健康保険には制度上の構造的な問題がある。都道府県単位の国保の広域化で、納付金と保険税収入の差額を活用し、国保税引き下げの努力を評価する。

古賀市の未来を考える



施政方針 質疑

市長の政治姿勢や
政策の内容について、
各会派の代表が問う！

施政方針を問う！

会派と所属議員

伊東 洋子	古賀 誠視	田中 英輔	山海会 (さんみかい)
清原 哲史	吉住 長敏	阿部 友子	連 (れん)
高原 伸一	姉川 さつき	岩井 秀一	志成会 (しせいかい)
福崎 智之	渡 孝二	松島 岩太	自由クラブ (じゆうくらぶ)
	村松 謙二	奴間 健司	希来里 (きらいり)
	平木 尚子	井之上 豊	公明党 (こうめいとう)
結城 弘明	森本 義征	内場 恭子	会派に 属さない議員

質疑時間は会派人数に応じた時間制（1人当たり5分）とし、紙面も質疑時間に合わせた配分になっています。

市長公約の実行は

伊東 洋子（山海会）

議員

学校施設長寿命化計画、子育て世代
包括支援センター開設、道の駅整備
の基本計画、文化芸術振興の考えは。

市長

重要性や財政状況をみて、計画的に
進める。

議員

戦後72年、次世代に平和の意義をど
う伝えていくか。



市長

被爆クスノ
キ植樹が平
成30年度で
完了。今後
も、平和事
業は継続し
ていく。

先々にも持続可能な 古賀市の創造を

吉住 長敏（連）

議員

古賀サービスエリアのスマートイン
ターチェンジの推進状況は。

市長

国の準備段階調査で関係先と調整中。

議員

JR古賀駅周辺の整備計画の展望は。

市長

UR都市機構と基本協定を締結。駅
東口企業と面的整備事業手法の課題
を協議中。

議員

九州で古賀市のあるべき都市像とは。

市長

アジアのゲートウェイ機能を活かし地
理的優位性で活気ある都市をめざす。

施政方針について 具体策を問う

岩井 秀一（志成会）

議員 企業誘致に取り組むとあるが、上下水道料金・使用料の改定との整合性はあるのか。

市長 近隣自治体と比較しても価格競争力を維持しており、安定的経営を行うため公平かつ適正な受益者負担が必要と考えている。



議員 都市計画マスタープランの見直しや景観条例、庁内の連携や部局の再編。介護保険料の改定は厳しい査定により今後、禍根を残す。補助金審査、委員会の答申、学校の空調設備の整備を問う。

施政方針を問う

松島 岩太（自由クラブ）

議員 都市計画マスタープランの改定は、古賀市の土地活用の最も重要な施策であり、事業者任せにせず、職員の手作りで行うことが重要と考える。古賀



市に奉職し、だれよりも古賀市を愛し、歴史や文化、そこに住む住民の息遣いすら感じられる古賀市の職員の見識こそが、最もふさわしいと考えるがいかがか。

市長 職員が深く関わり、その見地は生かすが、全部を職員で行うことは難しいと考える。

子どもの貧困に 早急な対策を

内場 恭子

議員 子どもの貧困解決への考えは、早急に対策が必要だ。子どもへの施策・事業を拡大すべきだ。

市長 貧困解決に、全庁で取り組んでいく。

市民、若者、企業関係者に 希望と夢を伝えよ

奴間 健司（希来里）

議員 施政方針は、予算編成と事業概要の性格が強く、市政運営の基軸が弱い。

市長 施策を述べるものと認識。古賀市は天の時が来ていると感じている。

議員 企業関係者に注目される内容を。

市長 行政はインフラなど縁の下の役割。

今後、古賀市が向かう方向は

井之上 豊（公明党）

議員 古賀市がめざす「古賀市景観計画」は。

市長 未来に誇れる景観を保全し、創造する。

議員 市民の声はどこで聞くのか。

市長 出前講座や各行事や会合などがある。

議員 古賀市の文化、芸術はどう育てるのか。

市長 アクションプランに基づき推進する。



第1回 定例会の主な審議

平成30年第1回定例会(2月27日～3月27日)の主な審議の要点を報告します。

水道料金改定

水道料金体系の改定を行うため、条例の一部を改正するもの。

料金体系を用途別から口径別へと変更。その目的は、

- ①維持費用に見合った料金を負担。
- ②バックアップの使用者の回収率をあげる。
- ③必要以上の大口管路布設を抑制する。

主に家庭用の13mmと20mmでは、県内48団体内20位から32位へ下がる。基本料金は最大24%ダウン。基本水量を廃止。

大口径で少量使用者は、料金が大幅アップします。

市民建産委員会へ付託し、賛成少数で否決。

反対 企業へ応分の負担をお願いするのは分かるが、この状況を放置してきたのは市の責任である。信頼関係を揺るがすものである。企業への十分な説明を。将来

議長裁決で

否決

に禍根を残さないために反対。

賛成 市長公約の30%減には

達しないが、用途別から口径別への料金体系変更は、負担の公平性が図られ一般市民には喜ばしいことである。一人暮らしの使用水量が少ない人には負担軽減となる。口径別の改正は、全国的な流れであり遅すぎるくらいとの意見があり、本会議の採決では可否同数となり、議長裁決で否決しました。



生活にかかせない水の供給

介護保険料値下げ

地域包括ケアシステムの強化

のための介護保険法等の改正により保険料の改正をするもの。

・基準額で4900円を4800円に。

・低所得者の負担軽減。

・保険料を12段階とした。

値下げの要因

- ①地域包括ケアシステムの推進、認知症対策など予防事業の取り組みを強化することにより負担軽減につながった。
- ②介護保険給付費準備基金5億円のうち4億円の取り崩しによる。
- ③平成28年度から開始した総合事業の影響。

文教厚生委員会へ付託し、賛

議長裁決で

可決

成多数で可決。

反対 余剰金を取り崩しての値下げだが、3年後には急激な

基準額増となり大きな負担となる。同じように健康に留意した人でも下がる人、増額になる人があり不公平である。今のまま据え置いても市民に負担をかけずにいける。

賛成 低所得者の負担軽減、基準額の引き下げ、負担能力に応じた所得段階の新設は評価でき

る。健康づくり、介護予防、認知症対策に力を入れていく必要があるとの意見があり、本会議の採決では可否同数となり、議長裁決により可決しました。

国民健康保険税値下げ

可決

国民健康保険制度改革等に伴い税率などの改定を行うもの。

平成30年度から新しい制度となり、安定的な財政運営をするため、福岡県も保険者になり、共に運営します。

賛成 応能割、応益割を50…50

オンライン結合業務を委託

ふるさと応援寄附の受領証明

書発送、ワンストップ特例申請送付のためオンライン結合を行うものです。

個人情報保護のため必要な措置が講じられていることから適当であると判断し、賛成全員で可決しました。

掲示場を市役所前1カ所に



市役所前の掲示場

告示、広告の内容を掲示する

場所を、市広報紙やホームページなどの掲載が進んでいるので、市役所前1カ所にするというもの。粕屋農協青柳支所前、小野支所前をなくすものです。

総務委員会へ付託し、改正が遅い感はぬぐえない、という賛成意見がありました。委員会、本会議ともに賛成全員で可決しました。

地域密着型特別養護老人ホーム整備

1億3282万円

病院区の公務員宿舎跡地に建設。長崎県上五島で介護施設を運営する社会福祉法人青山会と福岡財務局の間で50年間の借地契約を締結。

- ・定員29人。
 - ・小規模多機能型居宅介護、短期入所生活介護も併設。
 - ・古賀市民が対象。
- 住み慣れた地域で生活し続けられると賛成意見がありました。



公務員宿舎跡の建設予定地

ふるさと就労促進事業は

定住化につながったか

320万円増額

新規に正規雇用を行った事業者に補助金を出し、若者の定住化を図る事業。
増額の理由は申請者増によるものです。

定住化は進んだかという問いに、追跡調査をしたいという回答でした。

大人・峠農機具

保管庫用地一部払下げ

歳入 119万円

古賀市名義の土地が個人の敷地内にあるため、その部分を個人に払い下げるもの。
このような土地が他にもあるのではないかと、早急に整理をとという意見がありました。

3月議会での各会計の補正（賛成全員で可決）

	増減額	合計額
一般会計	△2億4,770万円	213億9,180万円
住宅新築資金等貸付事業	1,002万円	1,841万円
国民健康保険	△1,006万円	72億3,666万円
後期高齢者医療	△516万円	7億920万円
介護保険	1億4,593万円	37億1,039万円
公共下水道	△1億236万円	19億7,817万円
農業集落排水事業	△1,000万円	5億3,774万円
水道事業	支出△2,564万円	14億9,195万円

専決処分

補正予算（一般会計）

ふるさと応援寄附金急増

2億9183万円

ふるさと応援寄附金の急増により、返礼品の増加、納税ポータルサイト使用料等の増加による補正。
返礼品提供者の状況は、の問いに1〜2カ月待ちで発送しているとの説明でした。

議員提案

費用弁償廃止議案

議長裁決で

否決

市議会議員が議会および委員会に出席した時に、1日につき2500円が支給されている費用弁償を廃止する議案。
前期より議会内で協議を続け、平成28年11月に議会運営委員会において賛成全員で廃止を決定。1年後、全員協議会で現状のまま決定されましたが、市民に見える形で決定すべきと議員提案がありました。

反対 実費弁償にするのが良い。車いすの人の場合など費用がかかる。法的に不備な議案。もつと丁寧な働きかけが必要だった。

賛成 名誉職の名残。交通費と考へても多すぎる。説明不十分な公金使途は改めるべき。
採決の結果、可否同数となり、議長裁決で否決しました。

※議長裁決とは
賛成と反対が同数となった場合、委員会の結果、現状維持の原則などを考慮して議長が判断する。

人事

○教育長の任命に同意

長谷川 清孝 氏（62歳）
（再任）

○固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

高木 賢治 氏（70歳）
（再任）

○農業委員の任命に同意

- 渡 孝志 氏（67歳）
- 安武 泰正 氏（63歳）
- 矢野 博昭 氏（67歳）
- 篠崎 正信 氏（64歳）
- 宮本 重和 氏（67歳）
- 中野 喬輔 氏（67歳）
- 西 茂太郎 氏（71歳）
- 濫田 正明 氏（65歳）
- 長崎 隆児 氏（41歳）
- 安武 昇 氏（67歳）
- 高原多恵子 氏（59歳）
- 原 月江 氏（68歳）
- 木村 一壽 氏（69歳）
- 青谷 富彦 氏（74歳）

ここが聞きたい!

一

般

質

問

質問席

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。

1人30分(答弁を含まず)の持ち時間で質問します。

掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。

掲載は通告届出順です。

中継・録画は、インターネットで視聴できます



内場 恭子

宮地岳線跡地に車道はいらない

〔答〕道路の賛否が折り合いをつけていく

議員 福岡県単位の広域化に伴い、保険税を改定し、国保税の引き下げが提案されている。3年後の国保税はどうなるのか。市民の健康増進、疾病予防をどう進めるのか。

市長 古賀市国民健康保険運営協議会の答申を尊重し、今後は3年毎に検討。健康増進や疾病予防、健康づくりに取り組む。

議員 国保税を引き上げない取り組みをしてほしい。介護保険料を基準月額4800円に下げる介護保険料改定が提案されている。3年後の改定はどうなるのか。老後安心の古賀市にするための考えはどうか。

市長 3年後の介護保険は、6000円程度を見込み。要介護の重症化予防、認知症対策の強化などにさらに取り組む。

議員 水道料金の改定も提案。この改定で、公約の水道料金30%引き下げの実現はできるのか。選挙公約の実現はどうなった。

市長 公約とおりの30%引き下げとはいえないが、一般家庭用13×20mmの口径で、平均5.5%、最大24%の軽減を予定。公約実現に努力したい。

議員 公約実現を市民は待っている。生活道路の改善はどう進むのか。早急な対応が必要な道路の改善は、問題の把握は。

議員 各行政区長からの要望書で、優先順位をつけて整備している。

議員 歩きにくい路肩や道路の横の凸凹の側溝蓋など、高齢者などの通行に大変危険な状態で、早急な対策が必要だ。西鉄宮地岳線跡地の活用計画は、その地域の市民の希望するものか。市民の構想で跡地の活用を推進する考えはどうか。

市長 地域住民と意見交換会を行い、その意見を反映した検討案を提示している。

議員 西鉄宮地岳線跡地の活用は、市民の構想で進めるべきだ。車道に反対される市民の願いは、「車道よりも、地域に必要な公民館の用地やコミュニティ活動に活用などができる公園・広場にしてほしい」だ。



市民が望む安全な広場・遊歩道へ



姉川 さつき
(志成会)

補助金の見直しは計画的であったか

(答) 遅れはしたが実施している

議員 補助金の適正化に向け、計画的に取り組む、PDCAを回してきたのか。

総務部長 廃止・統合された補助金や、委託・公募型に移行した一方、人件費など運営費補助の廃止や、終期の設定が進んでいない補助金もある。計画より遅れたが見直しを実施した。指摘は真摯に受け止める。

議員 古賀市補助金審査委員会から出された答申についての見解は。

市長 専門的な見地から、客観性のある答申書を受け取ったと認識している。

議員 廃止と判断された事業の今後は。

市長 指摘内容を踏まえ、ガイドラインに基づき平成30年秋頃までに精査の予定。

議員 順番が逆だ。ガイドラインを策定してから、市の補助金のあり方を明確にした後に諮問すべきだったのでは。

財政課長 指摘の通り。

議員 今回出された答申の31事業の内、廃止の指摘は19事業で61・3%にも上る。計画に基づき、所管課と団体との協議が十分に行われていたなら、このように厳しく指摘を受けることは避けられたのではないか。

財政課長 公募型を導入し、同じ基準で公平に審査した結果だが、指導や団体との協

議が足りなかった部分に対しては反省。

議員 食の祭典補助では実績報告書がないということ、事業内容に関わらず補助金を執行すべきでないと、厳しい指摘があるが、実績報告書は存在し、事実と異なる。商工政策課長 実績報告書はあるが、委員が求める内容ではないということ。

議員 この会議録では誤解を招く。シルバー人材センターや、社会福祉協議会は法的根拠に基づき設置されている。補助金廃止の判定に対し、見解を求める。

財政課長 事業そのものは是非ではなく、補助金実行計画に基づき、執行すべき。
議員 再開された公募型補助金の内容は。
財政課長 上限30万円で1団体1事業。



市内外の来場者で賑わう「食の祭典」



井之上 豊
(公明党)

防災のためになすべきことは何か

(答) 工夫して市民の防災意識向上に努める

議員 古賀市地域防災計画の策定は。地区防災計画に行政の指導はできているのか。

市長 古賀市地域防災計画の策定はできていること、その計画に基づき災害対応にあたることとしている。また、地区ごとの防災計画は、各地域で話し合いをし、防災マップを平成28年度に全戸配布している。

議員 災害は、地震や津波だけでなく、大雪、大火、洪水、事故など、幅広い対応が必要。その対応策は。

市長 古賀市地域防災計画には、風水害対策編、地震・津波対策編、事故対策編があり、事故は海上災害対策編、鉄道災害対策編、道路災害対策編、大規模な火事災害対策編などがあり、それぞれの災害に対する業務を定めている。大雪災害は想定していない。

議員 災害時用の自販機の設置についてはどう考えるのか。

市長 他市町の事例なども参考に研究していきたい。

議員 市民の防災意識向上のため、識者の講演、ビデオなどの上映、出前講座などの推進は。

市長 平成29年度は、9月に防災教育指

導会より講師を招き、自主防災組織対象に講演会を行った。11月には益城町の避難所運営に関わった方を講師に、市民対象の講演会を実施。また、出前講座のメニューには防災に関するものが、粕屋北部消防本部が担当する講座も含め5つあり、コミュニティ推進課が担当するのはDVD視聴を行っているところ。今後も工夫を凝らしながら市民の防災意識向上に努めていく。



災害時用の自動販売機



田中 英輔
(山海会)

高齢化と人口減少が進む、どう取り組むか

〔答〕 健康づくりを進め生涯現役の町をめざす

議員 古賀市の高齢化率は25%を超えた。労働力、購買力の縮小、自治体の財政への影響もある。高齢化の課題はどう捉えているか。

市長 高齢化は進む、生涯現役で社会参画・貢献ができるよう、健康寿命延伸の取り組み・地域包括ケアシステムなどの仕組みづくりなど一層の推進が重要と考える。

議員 労働力不足が生じる。古賀市は企業誘致に取り組んでいる。高齢者の雇用はどう考えているか。

市長 無料職業紹介所のほか、福岡県中高年就職支援センターの出張相談事業を行っている。2018年度は前年度を上回る成果を上げている。

建設産業部長 国も働き方改革として重要な課題としている。市も同様の立場であり、企業などへ働きかけた。

議員 シルバー人材センターは「高齢者の就業機会の確保」など高齢者雇用安定法により設けられている。補助金審査委員会の答申もあるが、どう位置付けているか。

保健福祉部長 市として高齢者の生きがいがづくり、働きの場として重要と考える。
議員 高齢者の健康はさまざまな面から

課題である。どう取り組むか。

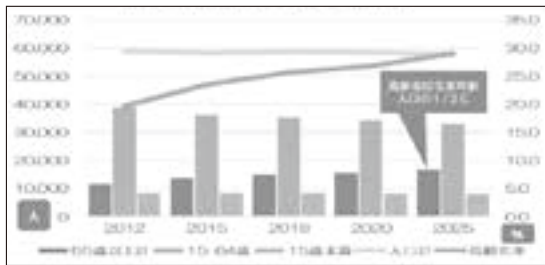
市長 医療や介護の状況は心疾患や脳血管疾患、がん、生活習慣病が多い。重症化防止に、早期発見・早期治療へかかりつけ医への受診を推進している。

議員 高齢者のみの世帯は全世帯の3割を超えた。健康づくりを支える推進員など、地域への配置は喫緊の課題ではないか。

予防健診課長 「健康チャレンジ10か条」を中心に連携し取り組む。停滞しているサポーター養成は内容を検討し進める。

議員 新年度施政方針の柱の一つは「健康づくり」である。市長の決意は。

市長 地域での活動の活性化も重要。健康づくりの促進に取り組む。



進む高齢化と人口構成

一般質問



伊東 洋子
(山海会)

福祉の視点で資源ゴミの分別収集を

〔答〕 地域全体で支え合う仕組みづくりが大切

議員 高齢化に備え資源ゴミの分別収集が困難になる人を想定し、古賀市でもふれあい収集（高齢者・障がい者を対象に玄関先でゴミ収集をする）を始めては。

市長 いろいろな方法がある。シルバー人材センターでワンコインサービスも実施。

議員 宗像市は、平成29年4月からふれあい収集を実施している。職員が申請者を訪問調査をする。対象者が限られるため経費は掛からない。古賀市でも取り組めないか。

環境課長 個別の実情に応じて対応している。近隣の取り組みを参考に情報収集している。

議員 困っている市民に寄り添うためには、福祉課・介護支援課・環境課が連携しふれあい収集を実施する必要がある。早急に取り組むべき。

増加傾向にある外国人との多文化共生のまちづくりは

議員 平成29年末で、642人の外国人が居住している。外国人居住者を社会の重要な構成員と認識し、日常や緊急時に必要な情報は的確に届いているか。

総務部長 今後、関係課で現状を確認し、研究体制をつくる。

総務課長 防災については、指定避難所のある小学校入口には、案内サインを出し、イラストや英語で表記をしている。

環境課長 他市のゴミ出しの資料を収集し、パンフレット作成に向け研究中。

議員 外国人居住者の子育てを孤立させない取り組みは。
子育て支援課長 乳児全戸訪問事業で把握し、孤立しないよう再訪問する。

議員 外国人居住者を含め、誰もが活躍する多文化共生の社会づくりが求められている。総務省が「地域における多文化共生推進プラン」を2006年に通知しているが古賀市の指針・計画の策定は。

市長 指針策定や計画の予定はない。



高齢者・障がい者は運ぶのも一苦労



古賀 誠視
(山海会)

公共交通の課題解決に市と地域の話し合いを

(答) 貴重な意見として今後の施策に生かす

議員 今回提案された有償シャトルバス運行は、議会の提言書を受け実施するののか。

経営企画課長 議会からの提言を受け、平成29年12月の補正予算で公共施設間のタクシーチケットの配布を実施。今回の公共施設間のシャトルバスは西鉄路線バスの補完と考え、持続可能な事業として継続する。

議員 提案のシャトルバスは、古賀駅東口からコスモス館までの便数が14便、停車地がリーパスプラザが・市役所・サンコスモ古賀・隣保館の4カ所となっているが、利用状況を見てバス停の増設も検討すべきだ。

経営企画課長 今回のシャトルバスは、公共施設間の移動の利便性を図り、ルート拡大で市内消費や地産地消にもつながる。実験運行を見極め、バス停の増設も検討する。

議員 市町村をまたいだ運行について新聞報道されたが、新宮町のコミュニティバスの小竹乗り入れは検討されないのか。

経営企画課長 市町村をまたいだ運行は、県が主導的に取り組んでいる。古賀市も可能性を含め情報収集にしっかりと取り組む。

議員 高齢者による事故が急増し、多くの市町村で優遇制度を導入し、免許証の自主返納を支援している。古賀市も導入の計画を。

市長 本年度は70歳お出かけバス事業も実施している。これ以外にお出かけタクシーの活用をしてほしい。

議員 平成30年度の西鉄との協議で、この線の減便などの提案はなかったのか。

経営企画課長 平成30年度は、29年からの減便、廃止はない。前年通り運行する。

議員 西鉄との協議で、やむなく減便になった小竹地区や、清滝地区に路線バスが配置できないなら、地域の区長やバスの利用客・地域住民と互いに解決策を探るべきだ。

市長 不便だと言われるが、どれだけ乗っていたか地元の方々と確認する必要がある。貴重な意見として、今後の施策に生かしていきたい。



有償シャトルバス7月頃開設予定



吉住 長敏
(連)

私有市指定文化財の相応の配慮を

(答) 公共の用にあり研究したい

議員 12件中、小山田と青柳2件の私有地内の市指定文化財の文化的価値とは。

教育長 十三仏板碑13体は、室町時代の石の板に彫刻された仏像13体と、金銅製仏像1体が、地中に埋納されていたもので当時の宗教的、歴史的様相を現在に伝える資料として貴重。色姫の墓は、中世末期の武将立花道雪の側室である色姫の墓碑で、歴史資料として貴重。

議員 その指定経緯とは。

教育長 当時の古賀町文化財調査委員会に諮問、その答申に従い、平成2年4月27日に指定された。

議員 私有地通行の現状をどう思うか。

教育長 相応な配慮が必要。文化財保護法で所有者は公開など活用に努めがあり、許容できる範囲内で協力いただいていると考えられる。所有者に配慮した見学の周知に努める。

議員 宅地内と見学路の何らかの区分の考えは。

教育長 財産権と所有権の尊重の観点から所有者のご希望を尊重すべきと考ええる。

議員 私有地市指定文化財は、維持管理で市補助金の活用ができるが実際に申請、適用はあったか。

文化課長 これまで実績適用はない。

議員 当事者からは声は出しにくい。文化庁調査官から、今国会で文化財の観光資源活用で文化財保護法の改正が予定されると聞く。色姫の墓は、立花宗茂のNHK大河化が実現した場合や、船原古墳に近い小山田の十三仏板碑は多くの見学者が想定される。市民の愛着形成と所有の感謝から私有地の固定資産税の減免措置を適用している自治体の事例がある。研究してほしい。

教育長 各地でも標識を立てたり所有者に対し何らかの配慮はすべき。

市民部長 文化財は公開と活用に努める努力義務がある一方、公共の用に供している。他自治体の事例を研究したい。



私有地にある市指定文化財標識



福崎 智之
(自由クラブ)

市民の声を行政に活かすためには

(答) 住民の声に、真摯に耳を傾ける

議員 宮地岳線跡地活用の効果は何か。

市長 遊歩道、歩行空間の安全性の確保、通過交通車両の対応に配慮し、安全で安心して暮らせるまちづくりとして整備したい。

議員 跡地活用での、市長のイメージは。

市長 四季を感じられる花壇や植栽、ベンチを置き、くつろぎの空間を創出。人それぞれの楽しいを具現化するために、沿線住民から意見を聞き、協議しながら取り組む。

議員 現状のやり方だといつまでも平行線だ。市長が意見交換会に参加することを望む。

市長 直接、住民の声を聞くことは必要だが、今はタイミングを計っている。

議員 対話する期日を具体的に言えないか。

市長 なるべく早めに実現できるように所管課に指示を出す。

議員 前回で質問した、小学校の支援教室や、跡地の状況は見られたか。

市長 見ていない。

議員 市民の不安がなくなったり、職員のモチベーションが上がるのは市長の対応次第だと考えるが。

市長 職務には役割分担がある。

議員 市の情報収集、発信力を強化することが必要ではないか。

市長 言われる通り。付け加えるならば市長の談話や市長ブログなどさまざまな手段を使って市の内外を伝えることも重要。

議員 市民の声を集めるためにSNSの活用を市全体で取り組むべきでは。

市長 古賀市は市民と対面で聞いている。改善すべきところは改善すべきと思う。

議員 市民と行政のやり取りが相互にできるシステムを構築してはどうか。

市長 ホームページのリニューアルで検討。

議員 多くの市民の声を集めることが、これからのまちづくりに必要。偏った意見にならないよう、公平にやり取りできる仕組み作りを。

市長 SNSを使って若い人の意見や、今までになかった意見も聞けるかもしれない。



市民の声が活きるまちづくりへ

一般質問



村松 謙二
(希来里)

投票時間短縮を決めた会議の議事録はあるか

(答) 議事録は作成していない、反省している

議員 2時間繰上げの決定過程を証明できる議事録をなぜ作成していなかったのか。

選挙管理委員長 新しい役員になって議事録の問題が出てきた。

議員 大変重要な会議で、どのように議論されたか、確認の方法がないということか。

選挙管理委員長 選挙の規程に議事録をとるようにあるが、事務局は、この規程を知らなかったのか。

総務課長 選挙の書記長の立場として、認識していなかったことは反省している。

議員 昨年6月2日の委員会で、委員長が採決に加わらなかったことが後に問題と判明し、9月22日に採決をやり直したということだが、であれば前選挙委員長の時に実施した、投票時間繰上げを決定した採決では、前委員長は採決に加わっていたのか。

選挙管理委員長 4人全員が賛成したと記憶している。

議員 記憶だと証明にはならない。委員長が表決に加わっていないとすれば、踏むべき手続きをしていない行政手続き瑕疵^{かし}にあたるのではないか。市長はどう思うか。

市長 本質的な判断が必要だと思うが、私は判断能力がないので答えは差し控えたい。

議員 極めておそまつなことをして、有

権者の投票の権利を奪ったことが明らかにした。選挙は夜6時以降の投票者が少ないというが、何をもちって少ないのか。

総務課長 それまでの選挙で、投票者が少ないことに起因している。

議員 これまでの選挙で、夜6時以降に投票された方は、少なくとも約1500人以上はいた。これでも少ないと言えるのか。

選挙管理委員長 投票率からすると少ないと思うが、実質、人数から見ると大変多かったと思う。

議員 有権者にできるだけ投票の機会を与えるのが、選挙の大前提のはずだ。開票時間を早めたり、コスト削減の理由で投票時間を短縮するのは本末転倒である。

議員 有権者にできるだけ投票の機会を与えるのが、選挙の大前提のはずだ。開票時間を早めたり、コスト削減の理由で投票時間を短縮するのは本末転倒である。

2時間繰上げ前の選挙で投票当日の 18時～20時までの投票者数		
平成25年	参院選	2,579人
平成26年	市長選	1,430人
平成27年	市議選	1,884人

18時から20時までの投票者総数



奴間 健司
(希来里)

施政方針発表会で情報共有と対話の促進を

(答) ご提案の発表会を行う考えはない

今の古賀市に必要なのは情報共有と対話

議員 年度初めに施政方針の発表会、年度末に結果の報告会を開催したらどうか。

市長 マスコミ発表、議会質疑の中継・録画配信で適切であり発表会は考えていない。

議員 市長記者会見のインターネット中継・録画配信を行ったらどうか。

市長 記者懇談会、市長と語るまちづくりなど継続。中継など配信は考えていない。

宇美町、臼杵市、尼崎市、松本市に学び子ども対象の特定健診やピロリ菌検査を

議員 古賀市の子どもの健康状態は。

市長 小学生の肥満、中学生のやせ、高校生の高血圧がみられ、生活習慣病対策は子どもの段階から必要と認識している。

議員 宇美町では、小学生の血液検査で3割が糖尿病の診断基準を超えていた。保健師、栄養教諭、管理栄養士による保健指導が行われている。血液検査の導入を。

市長 医師会などと協議の結果、血液検査は導入していない。

議員 臼杵市では、中学2年生を対象に公費でピロリ菌検査を導入し、検査率90%で5%に感染を確認した。古賀市でも導入してはどうか。

市長 公費ピロリ菌検査は予定していない。

議員 尼崎市では、小学5年生と中学2年生を対象に特定健診を無料で実施。参考にしてはどうか。

市長 勉強することはやぶさかではないが、そのまま取り入れることはない。

議員 子どもの健康づくりは持続可能なまちづくりへの投資である。次期市長が誰であれ、市長の任期中に下準備することが必要だ。それが市民の幸せにつながる。

市長 政策のほとんどは市長の指示ではなく所管課の企画立案による。ポトムアップが理想。市長が代わっても継続性はある。

議員 市民の健康を守るためのトップのリーダーシップ、情熱が必要だ。



情報共有と対話の年間サイクルの確立を



平木 尚子
(公明党)

子育て・教育応援都市『こが』に向けて

(答) 放課後の子どもの居場所を今後も整備

議員 子育て中の働くお母様などが安心して働けるための子育て支援の一つである学童保育の希望も増えているが、待機児童については、どのように考えるか。

教育部長 事前にアンケートを取り希望者を推計し、クラスを確保している。待機児童はない。

議員 学童保育については、入学・進級当初、定員を大幅に超える希望があり、安全面、教室の確保の心配があるが。

教育部長 アンケートによる希望者の状況により、広さ、人員などの確保をしている。ただ、職員の確保には苦慮しているが、委託先とともに職員の確保には努めている。

議員 学童保育または、放課後の子どもの居場所について、課題をどう考えるか。

教育長 学童保育所については、利用者が増えていることをみても、指導員の確保と整備の必要性を認識している。今後、放課後の子どもの居場所として、児童館・児童センターや、放課後子供教室などの活用を進めるとともに、状況を見ながら学童保育所指導員の確保と整備に取り組んでいく。

高年齢者の対応について

議員 今後高齢化社会にあつて、高齢者が

安心して利用できる地域包括ケアシステムを、わかりやすくどう伝えていくか。

市長 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、お互いが支え合う地域づくりをはじめ、介護不安に寄り添えるような、ケアマネジャーや地域包括支援センターによるきめ細やかな相談支援体制づくりを進めていく。

議員 安心して預かれる施設への支援は。

市長 日々、さまざまな高齢者に関する相談を受けて必要な支援を行っている。今後、一層の周知を行うとともに、分かりやすい制度の説明や利用する施設との調整を行うなど、引き続き高齢者に寄り添った支援を行っていく。



希望者がふえる学童保育 (花見学童)



阿部 友子
(連)

公募型補助金で市民活動の活性化と育成を

(答) 要綱を改定し公益性のある活動を支援

議員 平成30年度予算に公募型補助金が計上されている。1年をかけて検討し、新たに出直すと考えているが、どのように進めていくのか。

市長 補助対象を市の目的に合致する事業に限定せず、公益性のある市民活動を広く支援する要綱に改定する。団体の育成については、補助対象経費の範囲を拡大すること、円滑な事業運営を支援することも情報発信の機能強化に努める。

議員 行政としては、市民活動をどう位置付けているのか。

市長 まちづくりには大変重要な要素だと考える。

議員 共働についての考えを。

市長 行政でやる部分、市民がやる部分お互いが協力し合ってやる部分、3つそれぞれまちづくりの大事な要素である。

議員 古賀市は市民活動が盛んに行われている状況ではない。宗像市は登録団体が200以上あるが、古賀市は68団体である。公募型補助金制度は、市民活動を育成することに主眼を置いていただきたい。そのために、担当は財政課ではなく、団体を育成することができる部署で。

総務部長 検討する。

文化・芸術の振興による

古賀市の顔・誇りづくりは達成されたか

議員 文化・芸術の振興に係る予算が削減されている。縮小ではなくスクラップ&ビルドの考えでと説明があった。ビルドの部分は何か。

文化課長 古賀竟成館高校の協力で小学生向けの絵画教室を実施する。

議員 文化芸術審議会で見解が出ていた、公共施設美術品展示事業の「一点美術館」の取り扱いについて。

文化課長 紫外線を考慮して移動させる。

市長 わざとケースに入れないで直に見られるようにしている。



紫外線を考慮して移動した「一点美術館」

一般質問

一部事務組合報告

議長 結城 弘明

九工大、福岡大、

西南大学など63人が進学

古賀高等学校組合

平成29年度補正予算は、主に就学援助者17人増。授業料見込み数の減などで730万円。

平成30年度予算は、前年度比320万円増の6億576万円で賛成全員で可決しました。

平成30年2月6日現在、古賀竟成館高校推薦入学希望者82人。

2月1日での大学などの進学者は63人が決定し、就職希望者29人中26人が決定とのことでした。

駐車場の増設を計画

北筑昇華苑組合

平成29年度補正予算の約3300万円は、財政調整基金および積立金へ。

平成30年度予算は、前年度比740万円増の2億5917万円で、葬祭場施設整備費として駐車場増設設計委託料約1400万円が計上され、賛成全員で可決しました。



今後の設備老朽化が懸念

玄界環境組合

平成30年度予算は、前年度比5億8500万円の減で歳入歳出それぞれ億7369万円について審議。

予算の特筆点は、公債費(借金返済費)の長期債元金償還費、前年比約6億3600万円の減で、賛成全員で可決しました。

今後は、設備老朽化による管理運営費の増加が懸念されます。



総務

委員会

1月30日

委員長 森本 義征
岩井 秀一
副委員長 井之上 豊
田中 英輔 村松 謙二
清原 哲史

新たな行政区長 隣組長の制度を検討

問 新たな制度での進捗状況は。

答 校区単位で意見の集約を行い、代表区長会での協議を進めてきたが、隣組長にも意見を聞く必要があるため、3月の区長会で、平成29年度の隣組長全員に見直し案のアンケート用紙を配布する。これまでの区長会での意見とアンケート結果を合わせ、最終方針の決定は8月頃に行う予定。

コミュニティ推進課

福祉会館跡地は 臨時職員用駐車場に

問 市役所庁舎横の福祉会館跡地は、どう活用するののか。

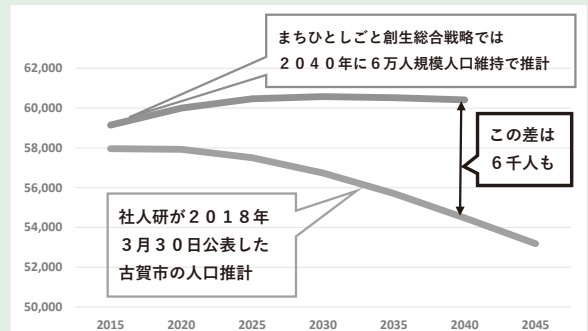
答 福祉会館跡地横には、銀行ATMがあり、人の往来が多く危険なため、平成28年12月中旬から臨時職員用の駐車場として18台分確保し、利用開始した。



新たに臨時職員用駐車場として活用

管財課

古賀市の総人口の推移



将来人口を見据えた中長期財政計画の公開を

中長期の財政計画は 公開すべきでは

問 中長期の財政計画を市民や議会に公開すべきでは。

答 庁内資料はあるが、数字だけが一人歩きし、不安をおおることが懸念されるため、今のところ公開の予定はない。

財政課

利用者の視点に立った 公共交通政策を



問 市町村をまたいだ、広域でのコミュニティバス運行を、県が検討しているとの報道があったが。

答 近隣自治体の公共交通担当者が集まり、意見交換を行っているが、具体的に決定していない。

問 1月15日から開始した「公共施設間タクシー運行」について、市民からの感想や意見はあるか。

答 利用券の交付窓口の場所について問い合わせがあった。

経営企画課

文教厚生

委員会

1月22日
2月8日

委員長	吉住 長敏	伊東 洋子
副委員長	阿部 友子	平木 尚子
		福崎 智之
		内場 恭子

こども美術展の今後は

問 こども美術展が平成29年度で終了と聞いているが。

答 文化芸術審議会より、絵画の展示というよりは、絵を描く力をつけることに力を注ぐべきだとの指摘があった。今回描く力をつけることを優先させ、古賀竟成館高校の生徒と協力して、子どもの絵画教室を開催する予定にしている。



文化課

「クロスパルこが」は 利用しやすいか

問 都度利用者が増えているのは、風呂の利用者が増えているのか。

答 風呂の利用は増えているが、プールの利用が減っている。

問 市内に新たなジムがオープンしたが、影響や対策は。

答 影響はあり、会員数が減っている懸念はあるが、グループもできているので利用者減の抑止効果がある。キャンペーンを行ったり、クラブの特色をいかしていきたい。

生涯学習推進課

企業コラボ企画 シニアサンドイッチ教室

市内の企業「山崎製パン株式会社」と介護支援課で一緒に、手軽で栄養もとれるシニア向けのサンドイッチ教室を開催。年間4回限定で開催予定。

問 他の企業とのコラボは。

答 企業からの提案があれば進めたい。

介護支援課

病児保育の利用状況は

問 当初の利用見込みと現在の状況は。

答 200人から400人と見込んでいる。状況によっては申し込み時に断る場合もある。利用希望者は増えている。

子育て支援課

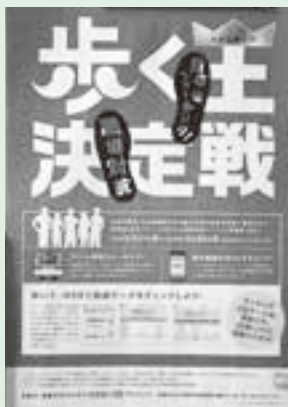
みんなで健康 ココロへ10(テン) プロジェクト始動

「ものづくりのまち」古賀を「健康経営」でサポートしよう、事業所従業員の運動を促進し生活習慣の改善のため、市内の事業所と古賀市が、職場対抗ウォーキングイベント「歩く王決定戦」を実施。

問 看護大学との関わりは。

答 今回は労働者の健康なので産業医科大学に協力をいたたく。

期間 平成30年1月29日～
3月25日



予防健診課

市民建産

委員会

2月5日
6日

委員長	高原 伸一	奴間 健司
副委員長	松島 岩太	古賀 誠視
渡 孝一	姉川 さつき	

バイオマス施設建設 経済面から断念

問 バイオマス施設の建設断念はいつか。

答 今年に入って市長が決断した。

問 経済性の観点から断念したとあるが。

答 生物処理を行い、下水道への放流で費用がかさむ。水処理施設の建設費や臭気対策、廃棄物の受け入れ施設の建設費などを再度検証した結果、売電費用で費用回収ができない。バイオマス発電など再生可能エネルギーは、今後継続し検討していく。

環境課

国保税率の検討経過

平成30年度、国民健康保険事業が県に移行、県への納付金が14億8296万円となる。

問 国保運営協議会の答申書に現行の税率より減額が可能とあるが。

答 平成29年度と同じ税率なら2500万円の歳入増が見込め、国保運営協議会に提示した。

問 答申の趣旨は国保税を下げることがか。

答 全ての被保険者が負担減となる答申が示された。



市民国保課



ふるさと納税に大貢献

ふるさと納税返礼品 古賀産「あまおう」 1位

平成29年4月から12月までの、ふるさと応援寄附の件数が4万5818件、金額は9億4228万円。増加の要因は「あまおう」を他自治体に先んじて始めたこと。

問 返礼品は、生産者や企業など何社に効果が及んだのか。

答 全体で40社である。

商工政策課

宮地岳線跡地利用の 地元協議の進捗状況は



西鉄宮地岳線跡地利用のゆくえは

問 詳細設計の発注時期が3月予定とある。地元説明会は進んだか。

答 中川区長・古賀南区長に詳細設計移行の了承をもらった。古賀北区は継続し説明会を予定。

問 どんな点を工夫して提案しているか。

答 遊歩道メインで緊急車両用の道路を整備したい。

建設課

古賀市議会だよりの改善に向けて 鳥取県 日南町と大山町へ

議会報編集委員会の視察報告



鳥取県で最優秀賞を受賞したことがある日南町の議会だより。読者（町民）の目線を意識して、タイトルや小見出しを工夫し、一目で内容がわかる編集をされていました。今後の課題としては、もっと議会への関心が高まるような企画や、ネット社会に対応した誌面づくりの検討に取り組みとのことでした。

大山町議会だより

町村議会広報全国コンクールで、優秀賞を受賞した大山町議会だよりの編集理念は「読んでみたくなる情報誌」。

会議録になりがちな議会の内容を、簡潔な文章で、中学生から高齢者まで、読み疲れないよう「身近な存在」として発行することを心がけていました。

大きな転換期は、現在の町長が広報委員の時に取組まれた「自主制作」、「住民の登壇や、町の声を反映させること」を徹底したこと、「新底した」と、「新しくしたい」と「読みたい」という1期目の委員の信念が強かったとのことでした。



市議会だより読者アンケートのご協力、ありがとうございました。現在、集計を行っております。今後の誌面改善に反映させていただきます。

第1回定例会の傍聴者は70人でした。ありがとうございます。

第2回定例会は6月8日（金曜日）開催予定です。

インターネットによる中継・録画配信も行っております。

平成30年 古賀市議会 第2回定例会会期日程（案）

会期 6月8日～26日 19日間

日	曜	会議名
8	金	本会議（初日）
12	火	本会議（2日目）
13	水	常任委員会
14	木	常任委員会
15	金	常任委員会
18	月	補正予算審査特別委員会
19	火	一般質問
20	水	一般質問
21	木	一般質問
26	火	本会議（最終日）

開議時刻は全て9時30分～

注）会期日程は、6月5日（火）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。（本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です）
 ◎請願書の締切りは6月1日（金）午後5時です。

古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会HP

スマートフォン、
タブレット

にも対応しています。

編集後記

表紙の言葉
今年も笑顔あふれる入学式でした。
友達たくさん増やしてね！

年4回の定例会では、多くの議員が一般質問を行っております。一般質問とは、議員が市の一般事務に対して、政策的提言や行政の課題などを市長と執行者に直接質すことですが、本紙では紙面の配分で、質問の主なものしか掲載することができません。紙面では伝えきれない議員の思いや、事前に調査研究をして臨んだ詳しい内容については、ぜひとも本会議および委員会を傍聴していただければ幸いです。

なお、各議員の一般質問の様子は、市議会ホームページの録画中継でご覧いただくこともできます。これからも、「議会だより」が、市民の皆さまに読みやすい広報媒体として、委員一同さらに努力してまいります。（村松）

議会報編集常任委員会

- 委員長 内場 恭子
- 副委員長 福崎 智之
- 委員 阿部 友子
- 委員 平木 尚子
- 委員 古賀 誠視
- 委員 村松 謙二



平成30年 第1回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成30年2月27日～3月27日

号数	議案名	結果	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福岡智之	古賀誠規	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明	
1	専決処分（古賀市税条例の一部改正）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	専決処分（平成29年度古賀市一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	専決処分（道路管理瑕疵に係る損害賠償）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	専決処分（道路管理瑕疵に係る損害賠償）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	専決処分（訴えの提起）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	古賀市スポーツ推進審議会条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	古賀市公告式条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	古賀市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	古賀市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	古賀市保健福祉総合センター条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	古賀市介護保険条例の一部改正	可決	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○
12	古賀市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	古賀市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	古賀市後期高齢者医療に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	古賀市都市公園条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	古賀市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	古賀市水道事業給水条例の一部改正	否決	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	○	○	○	●
18	平成30年度古賀市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成30年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成30年度古賀市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成30年度古賀市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成30年度古賀市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成30年度古賀市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成30年度古賀市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成30年度古賀市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成29年度古賀市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成29年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成29年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成29年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	平成29年度古賀市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	平成29年度古賀市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	平成29年度古賀市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	平成29年度古賀市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	通信回線を用いた電子計算機の結合（古賀市ふるさと応援寄附における受領証明書及びワンストップ特例申請に係る業務委託）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	古賀市固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	古賀市教育委員会教育長の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38 51	古賀市農業委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	古賀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順（■は議員提出議案） 11号、17号、52号議案は可否同数により議長裁決。

ようこそ古賀市へ

視察受け入れ

平成30年2月2日

議会改革や情報公開について

長崎県長与町 議会運営委員会

古賀市議会のタブレット端末活用での効果やシステム、情報公開、自由討議、政策推進会議など幅広い意見交換が行われました。



議会事務局紹介



職員の間が異動がありました。

陳情書・要望

30年6

介護予防・日常生活支援総合事業に関する請願(陳情)

陳情者

デイサービスTORIUS

管理者 前本 彰一

30年7

国民健康保険の単単位化にもなっていない保険料(税)引き上げなどの負担増を行わず、社会保障制度としての機能の充実を求める陳情

陳情者

福岡県社会保険推進協議会

会長 大脇 爲常

30年8

「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書(特別徴収義務者用)」マイナンバー記載の中止を求める陳情書

陳情者

福岡県県保協 会長 鷺坂 英輝

30年9

大口水道料金に関する陳情について

陳情者

古賀市商工会 会長 三輪 朋之

ようこそ古賀市へ

古賀市議会では、多くの市町村から視察を受け入れております。

毎回おもてなしの心を持って対応し、担当を決めて説明を行っています。

平成30年1月24日

議員間討議、大学とのパートナーシップ協定、予算・決算の審査方法について

石川県小松市 議会運営委員会

自由討議の目的や、予算・決算の審議にどう取り組んでいるか、古賀市にある看護大学との協力体制についてなど、熱心なやり取りが行われました。

平成30年1月25日

議会の取り組み、公共施設見学

大阪府 北摂市議会議長会

議会運営の取り組みとして、政策推進会議や、議会報告会について。また、先駆的の公共施設として、リーパスプラザこが(交流館)を見学に来られました。

平成30年4月17日

議会改革について

東京都葛飾区 議会運営委員会

議会改革の取り組みを、制度上の改革や自由討議、議会報告会、インターネット中継の導入の経緯、政策提言力向上や政策推進会議、今後の課題などを説明し、意見交換を行いました。

平成30年3月29日

議会改革の取り組みについて

沖縄県名護市 会派

グループドライブ活用のメリットや仕組みについて。議員が使用するタブレット端末の予算についてや政務活動費など、古賀市議会の議会改革への取り組みを説明しました。



異動 吉村 博文 (事務局長)

大変お世話になりました。議会の円滑な運営に少しでも貢献できたとしたら幸いです。



異動着任 伊田 倫男 (事務局長)

議長および議員の職務を補助し、円滑な議会運営となるよう微力ながら精一杯取り組んでまいります。よろしく申し上げます。